

地震に備え、どのような心構えが大切？

まず、地震の際、どのような危険が伴うのかを考えましょう。

地震対策について考えるには、まず地震が発生すれば人はどのような状況に陥り、オフィスはどのような被害に見舞われるのかを確認することが大切です。

● 震度と揺れ等による状況(概要)

震度6弱で人は立っていらなくなり、震度6強ではほとんどの家具類が移動し、倒れるものも多くなります。

<p>震度 0</p> <p>人は揺れを感じない。</p>	<p>震度 1</p> <p>オフィスで静かにしている人の中には揺れをわずかに感じる人がある。</p>	<p>震度 2</p> <p>オフィスで静かにしている人の大半が揺れを感じる。</p>	<p>震度 3</p> <p>オフィスにいる人のほとんどが揺れを感じる。</p>	<p>震度 4</p> <p>・ほとんどの人が驚く。 ・天井からの吊り下げ物は大きく揺れる。 ・座りの悪い置物は倒れることがある。</p>
<p>震度 5弱</p> <p>・大半の人が恐怖を覚え、物につかまると感じる。 ・棚にある本が落ちることがある。 ・固定していない家具類が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。</p>	<p>震度 5強</p> <p>・物につかまらなさと歩くことが難しい。 ・棚にある本で落ちるものが増える。 ・固定していない家具類が倒れることがある。</p>	<p>震度 6弱</p> <p>・立っていることが困難になる。 ・固定していない家具類の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ・窓ガラスが破損、落下することがある。</p>	<p>震度 6強</p> <p>・はわなと動くことができない。 ・飛ばされることもある。 ・固定していない家具類のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ・大きな地割れが生じることがある。</p>	<p>震度 7</p> <p>耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。</p>

参考：国土交通省 気象庁 震度と揺れ等の状況(概要)

● 地震による家具類の動きと被害

巨大地震では家具類が転倒・落下・移動するだけでなく、変形することもあります。

転倒	落下	移動	変形
<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の人、物への重大な被害 ● 避難通路の障害 ● 火器器具への転倒による火災発生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の人、物への重大な被害 ● 避難通路の障害 ● 火器器具上への落下による火災発生 	<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の人、物への被害 ● 避難通路の障害 	<ul style="list-style-type: none"> ● 収納物の移動、落下、破損
<p>収納物の落下</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の人への被害 ● 収納物破損 ● 避難通路の障害 ● 収納物が火器器具上に落下することによる火災発生 	<p>扉の開閉・落下</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人への被害 ● 発音による心理的影響 ● 避難通路の障害 ● 収納物の落下 	<p>引き出しの飛び出し</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の人、物への被害 ● 収納物破損 ● 避難通路の障害 	<p>ロッキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の人、物への重大な被害 ● 収納物破損 ● 発音による心理的影響

長周期地震動の場合は、とくに下記のような危険性が高まります。

- 高層階では、下層階に比べ揺れが大きくなる傾向があり、家具類の転倒・落下に加え、「移動」が発生する。
- キャスター付きの家具類はとくに移動しやすい。(ワゴン、コピー機など)
- 家具の移動により、はさまれる、ぶつかることによる負傷や通路をふさぐなどの避難障害が生じる可能性がある。
- デスクなどの引き出し付家具は、引き出しが飛び出して倒れることがある。
- 水槽などは中の水が大きく揺れ、転倒しやすくなる。
- 吊り下げ式の照明などは大きく揺れて落下する可能性がある。
- 家具類や電化製品の転倒・落下・移動による火災が発生することがある。

地震だ！ 身の安全を確保！

していますか？

家具類の転倒・落下・移動防止対策

対策の方法は、東京消防庁ホームページに掲載されている「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」を参考にしてください。

東京消防 検索

東京消防庁

上記の被害傾向に対して対策を行うことが、「人命の安全確保」と「二次被害の防止」につながります。



オフィスにおける家具類の転倒・落下・移動防止対策は、地震が発生した場合に職場で働く人々や訪れた人々の負傷を防ぐことに加え、重要なデータや書類などの経営資源を守り、事業継続を図るうえでも大切な対策です。